

令和6年第3回

教育委員会定例会会議録

令和6年3月1日

令和6年第3回教育委員会定例会会議録

令和6年3月1日（金）

出席者（5名）

教育長 貝ノ瀬 滋
委員 松原 拓郎
委員 野村 幸史

委員 畑谷 貴美子
委員 須藤 金一

欠席者（0名）

出席説明員

教育部長 伊藤 幸寛

総務課長 宮崎 治

学務課長 久保田 実

指導課長 福島 健明

教育政策推進室長

越 政 樹
教育部理事（スポーツと文化部調整
担当部長、生涯学習課長）
齊 藤 真

事務局職員

副参事 青木 涼子

教育部調整担当部長

松 永 透
総務課施設・教育センター担当課長、
教育政策推進室デジタル活用担当課
長 田島 康義
学務課教育支援担当課長、指導課統
括指導主事、指導課支援教育担当課
長 星野 正人
指導課教育施策担当課長、指導課統
括指導主事、教育政策推進室個別最
適化担当課長 齋藤 将之
三鷹市立三鷹図書館長

大地 好行
教育部参事（スポーツと文化部スポ
ーツ推進課長） 二浦 孝彦

副参事 千葉 優佳子

令和6年第3回教育委員会定例会
議 事 日 程

令和6年3月1日（金）午後2時開議

日程第1 教育長報告

日程第2 議案第7号 職員の懲戒処分について

午後 2時00分 開会

○貝ノ瀬教育長 ただいまから令和6年第3回教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議録の署名委員は、野村委員にお願いいたします。
それでは、議事日程に従いまして議事を進めてまいります。

日程第1 教育長報告

○貝ノ瀬教育長 日程第1 教育長報告を議題といたします。

じゃあ、伊藤教育部長、お願いします。

○伊藤教育部長 私からは、一昨日まで行われました令和6年第1回三鷹市議会定例会一般質問についてご報告をさせていただきます。一般質問割り振り表という資料をごらんいただきながら、ご説明をさせていただきます。

まず、今回、教育長には9人の議員さんから37問の質問がありました。

まず初めに、No.3、日本共産党の大城美幸議員です。平和教育としての戦争体験者の生の声を聞く授業について質問がありました。戦争体験者からの話を聞く機会を設けることは非常に大切であるという考え方をお示しした上で、ゲストティーチャーを招くことが難しい場合は、みたかデジタル平和資料館の動画、これは市のホームページでアップしているものですが、そうしたものなども活用している旨を答弁したところです。

次に、No.9、自民クラブの太田みつこ議員です。今後の幼稚園に期待する役割という質問でした。幼稚園ですが、公教育の一翼を担っており、子どもたちの幼稚園での成長と学びの蓄積を小学校でより発展させるためには、幼稚園・保育園と小学校の接続を十分に行う必要があること、また、幼児期ならではの資質・能力を育み、小学校の生活や学びにつながるようなアプローチカリキュラムの実現に期待することなどを答弁したところです。

次に、No.12、公明党の佐々木かずよ議員です。大きく2点の質問でした。1点目の学校の健康診断では、国の通知に基づきまして、正確な検査・診察はもとよりですが、児童・生徒のプライバシーや心情に配慮していることを答弁しました。国の通知というのは2回出ておりまして、脱衣で診察・健診する場合には幾つかの必要な項目に限る、そのような対応をしているところです。

2点目は、市販薬のオーバードーズ、過剰摂取ですが、生活指導主任会で情報共有を図るとともに、国が作成した小学校6年生の保護者向けリーフレット、こうしたものを活用しながら注意喚起を行っていること、今後も日々の生活指導を通じた注意喚起を図るとともに、保護者会や保健だより等を通じた保護者への情報提供にも取り組む旨を答弁しました。また、相談体制についてですが、総合教育相談室でも相談や支援の事例があります。今後も相談を受ける者の専門性の向上も図りながら、体制の充実を図る旨を答弁したところです。

次に、No.14、立憲民主緑風会のおばた和仁議員です。一人一人を大切にする教育の実現として5点の質問がありました。

Q1の35人以下のクラス編制については、メリットについて質問があり、教員が児童一人ひとりの学習や生活状況をより適切に把握し、その子に応じた教材や指導方法を講じられることがメリットである、このような答弁をしております。

また、Q5ですけれども、市内公立中学校への進学状況の現状と課題です。答弁としては、進学先の選択については、当然各ご家庭のお考えもあるとした上で、各学園では中学校進学後の見通しが持てるように、日常的な小・中交流活動に加えて、小学生が中学校の授業を体験する中学校体験、あるいは部活動の体験なども実施しながら交流を進めております。また、相互乗り入れ授業などを実施していること、こうしたことを例示いたしまして、今後も中学校教育の充実と小学校への情報発信に努め、市内中学校への進学率を上げるための取組の充実を図りたい旨の答弁をしております。

次に、No.15、立憲民主緑風会の高谷真一朗議員です。社会保険労務士が行う出前授業の実施をという質問でした。外部の専門家による授業は、社会に開かれた教育課程を推進していく上で推奨されるものである、このような基本的な考え方をお示した上で、実は11月の定例校長会でも社会保険労務士の方に来ていただいてPRをしていただいたんですが、協力関係が思うように進んでいないということで、改めて積極的に取り組むよう校長会等で周知する旨を答弁したところです。

次に、No.16、立憲民主緑風会の谷口敏也議員です。こちら大きく2点のお尋ねがありました。

1点目の障がいのある児童・生徒の就学についての質問では、Q8で就学先を決める相談の流れをご説明するとともに、Q9の就学基準については、障がいの状態と本人の教育的ニーズ、それから本人・保護者の意向、教育学・医学・心理学等専門的見地からの意見、また学校や地域の状況等を踏まえた上で、総合的な観点から就学先を決定している旨を答弁したところです。

また、Q10、保護者の意向の尊重につきましては、お子さんや保護者の方の意見を最大限に尊重していくという考え方を取っておりますけれども、一方で、お子さんの就学に当たりましては、一人ひとりの年齢や能力に応じ、かつ特性を踏まえた十分な教育が受けられるよう、障がいや特性の状態等を総合的に勘案した判断を保護者の方にお伝えいたしまして、合意形成を図っていくことも重要であると、そのように答弁をしました。

また、Q11では、インクルーシブ教育支援員の配置というお尋ねでしたけれども、令和6年の3月に、東京都より関係の要綱が示される予定であると聞いておりますので、内容を確認した上で検討したい旨を答弁したところです。

大きな2点目は、児童・生徒の表彰に関わる質問でした。答弁としては、表彰の意義として、児童・生徒の主体性や努力の成果を称賛することで自信や個性の伸長につながってもらいたいこと、また受賞の経験が自己肯定感や社会へのさらなる参画意識の醸成につながると考えていること、このような答弁をしております。そのほか、表彰は各学校からの推薦調書をもって審査を進めていくんですけれども、再質問の中で締切りが早いのではないかと、このような趣旨のお尋ねがありまして、よく実情を調べて検討する旨を答弁しております。

次に、裏面になります。No.18、参政党の蛭澤征剛議員です。教科書採択に係る質問ということで、全て教育長への質問でした。

Q1から3は選定のプロセス等のお尋ねですけれども、ご存じのとおり短期間で調査研究し、選定資料を作成するため、調査の標準化でありますとか、あるいは、それぞれの部会でオンライン開催、そのようなこととしておりまして、作業の効率化など工夫をしていること、それから、調査基準項目については、学習指導要領に則し、かつ各社の工夫や学ぶ立場に立った特徴を含めた観点での調査を行っている等の答弁をしております。

また、Q4ですけれども、社会科の歴史的分野の教科書選定についてお尋ねがありました。答弁としては、学習指導要領が定める資質・能力の3つの柱が偏ることなく育成できるよう調査・研究を行い、今後も三鷹の子どもたちにふさわしい教科書を採択できるよう取組を進める、このような答弁をしております。

次に、No.19、都民ファーストの会の山田さとみ議員です。こちらも大きく2点の質問でした。

1点目は、切れ目のない発達支援・就学相談の体制整備について、市長、教育長に質問がありました。市長にお尋ねします、それから教育長にという形で同様の質問が続いてきたところですが、こちらはQ2から11までの質問になります。市長部局の子ども発達支援センターとの連携についての質問に対しましては、保護者から提出された就学支援シートによりまして、配慮事項の共有と、これまでの療育等での効果的な指導を継続して実践するよう努めていること、それから、就学説明会も子ども発達支援センターと共催で実施をしておりますので、今後も子ども発達支援センターと協働できる機会を積極的に捉え、組織の垣根なく取組を進めたい旨を答弁しました。

大きな2点目は、子どもと教員のウェルビーイングについてのお尋ねでした。答弁ですけれども、個人と社会のウェルビーイングについては、子どもたち一人ひとりが自分らしく幸せに生きることができる人生と、みんなが心地よく共に生きることができるよりよい社会の創造と考えていること、また教育委員会の全ての施策の基礎として、こうした考え方で施策を積極的に推進していく旨を答弁しております。

また、その成果指標というようにお尋ねもありました。基本計画には大きな成果の指標として、小・中学校の教育が充実していると感じている市民の割合も一つの指標になると考えますが、例えばアンケートの実施も含めまして検討していくと、そのような答弁をしております。

最後に、No.20、都民ファーストの会の原めぐみ議員です。2点の質問で、保護者と共に考える防災教育では、都の防災ノートを活用した家庭学習なども実施しているところですが、今後も保護者・地域参加型の避難訓練や防災教室を計画するなど、各校に計画の工夫を呼びかけていきたい旨を答弁しました。

2点目のネイティブ人材を活用した英語教育のさらなる強化ですけれども、こちらは実績として、三鷹市ではALT10人を同時に1つの学校に派遣して英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育のさらなる推進を図る授業、これをイングリッシュフェスタと呼んでおりますけれども、こちらを今年度は8校、来年度は7校、小学校で実施

しまして、全小学校で実施となる計画です。また、東京都の事業であるイングリッシュ・キャラバンもALT5人を派遣する事業ですけれども、これらを積極的に教育課程に位置づけまして教育活動を進める、そのような答弁をしたところです。

一般質問については以上です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございました。

それでは、本冊の4ページからですか。総務課、宮崎課長、お願いします。

○宮崎総務課長 それでは、4ページの実績等報告でございます。

まず2月16日になりますけれども、三鷹市の教育に関する大綱の改定をテーマに総合教育会議が開催されました。ご出席ありがとうございました。

続きまして、26日から3月27日までの会期で、市議会定例会が行われている最中でございます。

29日ですけれども、東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会ということで、文部科学省初等中等教育局主任視学官の宮崎活志氏を講師に開催されました。畑谷委員にご出席いただきました。ありがとうございました。

続きまして、5ページでございます。5ページの文教委員会ですが、本日6日に開催されるということでご案内がありました。行政報告といたしまして、令和6年度教育委員会の基本方針についてとなります。せんだってご審議いただいたものでございます。

それから、3月11日は教育委員会の児童・生徒を対象とした表彰式を行います。こちらは2月8日に審査会を開きまして、小学生7名、中学生8名の計15名が選ばれました。お時間がありましたら、ご出席をお願いできればと考えております。詳細につきましては後ほどご案内いたします。

3月11日からは、市議会の予算審査特別委員会が開催される運びとなっております。

以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 次に、田島教育センター担当課長、お願いします。

○田島総務課施設・教育センター担当課長 6、7ページをお開きください。年度末完了に向けまして、工事関係につきましては、第四小学校の大規模改修工事に伴う基礎調査及びアスベスト除去工事の設計を行っております。それ以外の工事につきましては、記載のとおりでございます。

また、本日配付しました「教育センター消防計画概要」についてご説明します。

消防法や東京都震災対策条例の改正を受けまして、教育センター事務局等があります、教育センターの建物の消防計画の改定の予定をしているところでございます。消防計画は、予防対策及び自衛消防対策という大きな2つがありまして、組織も変わっていますので、体制を見直した形で消防計画の提出を考えているところでございます。

私からは以上になります。

○貝ノ瀬教育長 じゃあ、次、学務課、久保田課長、お願いします。

○久保田学務課長 学務課でございます。資料の8ページ、9ページをごらんください。

8ページ、1月15日から2月28日にかけて、給食調理業務を委託しております小・中学校全22校において、学校給食運営協議会を開催いたしました。協議会では、学校長、

栄養士、調理業務委託事業者、保護者代表、教育委員会事務局職員が参加し、学校長からは学校、栄養士、調理委託事業者がしっかりと連携を行い取り組んでいる様子などの報告、栄養士からは学校給食実施状況等の報告、事業者からはアレルギー対応等安全への取組などの説明がございました。

また、子どもたちが食べているものと同じ給食を実食いたしました。保護者代表の皆様からのご意見は良好で、「子どもたちが給食はおいしいと言っているが、実際今日食べてみたら本当においしかったです」というご意見や「安全に対する二重三重の取組を知ることができました」、「メニューや調理に細かい工夫や気配りがあることを知りました」等の意見がございました。給食のメニューのレシピを知りたいというご意見をいただいた際には、給食だより等を活用して掲載するなどの対応を行っていくことを、お伝えをしたところでございます。

続きまして、記載はございませんが、前回の委員会でご報告いたしました学校への寄贈について、2点ご報告いたします。1点目が、上連雀六丁目アパート西部自治会様から第六小学校に和太鼓2台をご寄贈いただき、2月8日に感謝状の贈呈を行いました。もう1件が、盲目のピアニスト・作曲家としてご活躍された故島筒英夫様のご遺族から、第四小学校にグランドピアノを1台ご寄贈いただき、2月9日に第四小学校にてお披露目会を行いました。どちらの様子も、市のホームページのトップページにございますフォトニュースで写真つきでご紹介をさせていただいておりますので、後ほどごらんいただければ幸いです。

その他報告事項は記載のとおりです。

○貝ノ瀬教育長 総合教育相談室、星野課長、お願いします。

○星野学務課教育支援担当課長 総合教育相談室です。10ページ、実績報告となります。

2月6日、27日に、通級支援委員会を開催しました。6日は11件、27日は50件の審議を行いました。続いて、13日の就学支援委員会、こちらは12件の審議を行い、今年度の就学支援委員会、通級支援委員会はこの2月をもって終了となります。

令和5年度1年間のそれぞれの委員会の審議件数についてご報告いたします。通級支援委員会は296件、就学支援委員会では94件の審議を1年間で行ったところでございます。

続いて、2月16日、子ども発達支援センターとの共催で、年中児の保護者を主な対象者として就学説明会を実施いたしました。38家庭の参加があり、教育支援学級や通級による指導の紹介をはじめ、就学相談のご案内をさせていただくなど、就学の前後で保護者の皆様が不安を感じることがないように、保護者の方が欲しい情報を中心に説明を行いました。参加された保護者からは、「就学のことで分からないことがよく分かりました」、「今日の説明を踏まえて家庭で就学について考えたいと思います」、「とても分かりやすい説明で参加してよかった」との感想があったということで、子ども発達支援センターから報告を受けているところでございます。

11ページの行事予定については、記載のとおりとなります。

また、席上に「令和5年度の長期欠席・不登校状況にある児童・生徒への支援の在り方に関する研究会中間まとめ」をお配りしていますので、こちらのご報告をさせていただきたいと思います。

それでは、まず1ページ目、研究会開催の概要についてでございます。目的、委員の構成、開催日と主な研究テーマについては、こちら記載のとおりとなっておりますのでございます。

2ページをごらんいただきまして、こちらは三鷹市立小・中学校の長期欠席・不登校の実態についてでございます。平成30年度から令和4年度の長期欠席者数を経年で見たものとなります。グラフで見ていただくと、令和2年度から令和3年度の1年間で、長期欠席者数が235人から419人へと約1.8倍増となっていることや、令和3年度から令和4年度においては、419人から492人へと長期欠席者数は増加しており、その中の内訳で不登校の数が、128人から314人へと約2倍増となっているところでございます。

欠席の原因や理由が、これまでの傾向と新型コロナウイルス感染症関連によるものかについては慎重な分析が必要であります。何かしら不安なことや学校への行きづらさを抱えていることが考えられます。今後も子どもたち一人ひとりの個性や特性を科学的なエビデンスに基づきアセスメントし、必要な対策を打ち出していくべきとの意見をいただいているところでございます。

3ページになります。こちらでは学年別の長期欠席者数の推移と、令和4年度長期欠席前と長期欠席の欠席日数別の人数を示しております。学年別では、上の表になりますが、特に小学校の高学年での増加数が顕著であることや、低学年での欠席者数も増えているという傾向がございます。また、その下の欠席日数別で見ると、やはり小学校での対策を早急にすることが重要であり、学校内でその子が安心して学びができる支援体制を早急に構築すべきという意見をいただいているところでございます。

続いて、4ページになります。学校と教育委員会の取組についてまとめてあるところでございますが、現在、長期欠席・不登校の対応は、それぞれの学校で子どもに寄り添い取り組んでいることに対する評価はいただきつつも、学校によって対応に差があることや、対応が不明確であることが指摘されていることから、現在、三鷹市で行っている対応をまとめて示していく必要があるというご意見をいただいています。

続いて最後、4ページ、5ページになります。新たな取組の必要として(1)、(2)、(3)で示してありますけれども、校内別室の支援体制、分教室型を含めた学びの多様化学校の設置、児童・生徒一人ひとりのアセスメントと学校風土の「見える化」について、先行実施している自治体の担当者を招いて説明を受けるなどして、研究とその要点を4ページ、5ページでまとめているところでございます。

研究会の中間まとめとしましては、その子に合った学びの場や人的配置などの構築は大切であるが、その学びの場や支援員とその関わり方がその子に適合するかということがやはり一番重要なことであり、子ども一人ひとりの個性や特性を科学的に把握し、そのアセスメントを踏まえた支援策を考え実行していくべきであるというご意見をいただい

す。次年度の研究会では、5ページに示してありますが、4つのテーマ、「長期欠席・不登校の実態把握」、「子どもへのかかわり方の研究」、「支援体制」、「保護者への支援」についてより深く研究を行い、2年間の研究成果を報告書にまとめていくとしております。

今年度、十分に研究・検討できなかったことについて、研究会の委員長、副委員長とよく進捗を確認しながら、次年度の研究に取り組んでまいりたいと考えております。

報告は以上です。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございました。

次、指導課、福島課長、お願いします。

○福島指導課長 指導課です。12ページ、13ページをお開きください。

まず、行事実績等報告です。2月16日金曜日、令和4・5年度東京都教育委員会体育健康教育推進校研究発表会が第六小学校で行われました。市内外から多くの参加者があったということで、今後の市内での成果を広めていくことが非常に期待されるところです。

続いて、行事予定等の報告です。3月14日木曜日には、令和6年度に新たに三鷹市に着任する管理職の方を対象にした説明会、新補・転補管理職説明会を行います。

19日火曜日には中学校の卒業式、25日月曜日には小学校の卒業式があります。委員の皆様にもお忙しい中大変恐縮ですが、ご参列のほどどうぞよろしくお願いいたします。

その他は記載のとおりとなります。

指導課は以上となります。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございました。

教育政策推進室、越課長。

○越教育政策推進室長 14ページ、15ページをお開きください。14ページ、行事実績等でございます。

2月9日、コミュニティ・スクール委員会会長・副会長連絡会を開催いたしました。今年度3回目の開催で、7学園のコミュニティ・スクールの会長・副会長にお集まりいただき、今年度の成果と年度に向けての課題について情報交換等を行ったところでございます。

そのほか、例月のPTA連合会常務理事会や各学園のコミュニティ・スクール委員会、そして、2月が最終月となりますけれども、各PTAを中心とした家庭教育学級等が開催されたところでございます。

また、記載はございませんけれども、前回の教育委員会定例会でもご報告させていただいた三鷹の地域ポイントについて、学校の授業サポートにおける付与についての進捗でございます。2つの学校におきましてその付与の手順等の確認をしまして、特段問題ないということでしたので、2月19日に全学校を対象に説明会を行いまして、その後、南浦小、東台小で準備が整ってきているところでございます。今後も、準備が整った学校から活用に向けて取り組んでいくことにしております。

15ページ、行事予定でございますけれども、今週末、3月3日日曜日に、みたか学校支援者養成講座（CS委員対象講座）ということで、CSの委員の皆さんを対象とした研修を実施予定としております。

また、27日水曜日には、コミュニティ・スクール委員候補者向け説明会ということで、来年度新たに委員になる候補者の方に向けまして、コミュニティ・スクール委員の役割ですとか基本的な仕組みのところについてご説明をする説明会を、開催予定としております。

教育政策推進室からは以上になります。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございました。

図書館、大地館長。

○大地三鷹図書館長 16ページをごらんください。実績でございます。

2月10日には、ワークショップ「いしかわこうじ先生とペーパーわんこをつくろう！」を実施させていただきました。

また、11日は、みたかとしょかん図書部！の定例会を開催しております。

17日には、わん！だふる読書体験、20日には三鷹市図書館協議会の視察ということで、多摩市立中央図書館に視察に行っていました。

17ページの予定でございますが、3月5日から24日まで、本館で絵本作家・石倉ヒロユキさん原画展「はやおきのロビン」の展示をさせていただきます。

また、3月2日にはわん！だふる読書体験、10日にはみたかとしょかん図書部！の定例会、また21日から23日まで、春のオープンガーデンということで、本館の庭の開放をさせていただくことになっております。

図書館からは以上です。

○貝ノ瀬教育長 次に、スポーツと文化部から齊藤部長。

○齊藤教育部理事 18ページ、19ページをごらんください。

まず、18ページの実績等の報告です。2月13日に今年度4回目の生涯学習審議会・社会教育委員会定例会を生涯学習センターで開催しました。第5次三鷹市基本計画（1次案）に対するご意見をいただいたのと、個別計画である生涯学習プランの改定スケジュール等を確認しました。

2月18日、作曲家の中田喜直生誕100年を記念したファミリーコンサートを公会堂光のホールで開催しました。

2月21日に、今年度2回目の生涯学習センター利用者懇談会を開催し、生涯学習センターで実施する講座や事業に関するご意見をいただきました。

続きまして、19ページの予定等の報告です。

3月4日、文化財保護審議会定例会を開催します。

3月9日ですが、令和3年度から取組を進めてきた吉村昭書斎の移築整備工事が完了し、この日に開館記念式典・内覧会を開催します。

3月10日、縄文人の食をテーマとした考古学体験学習を行うのと、公会堂では親子音楽会を開催します。

○二浦教育部参事 次に、スポーツ関係になります。

2月16日から20、21、22日と4回にわたって、小学校の校庭開放説明会を各コミュニティ・センターで行いました。

2月18日には、第32回三鷹市民駅伝大会を開催いたしました。157チームがたす

きをつないで、沿道の観覧者と来場者が約1万4,000人と盛況の中、大きなけがもなく無事に終了いたしました。ご出席、ご協力ありがとうございました。

2月25日に、井口特設グラウンドの利活用に関する地域説明を、出入り自由のオープンハウス形式で行いました。

昨日29日には、今年度2回目の市民体育施設利用者懇談会を開催して、スポーツ施設のハード面に関するご意見をいただきました。

19ページの予定等報告です。

本日夜、今年度2回目の体育施設連絡会を開催して、各住民協議会の体育部会の方と意見交換を行う予定となっております。

3月23日には、市が連携協定を結んでおりますラグビーの東京サントリーサンゴリアスの応援バスツアーを行います。なお、2月24日、東芝ブレイブルーパス東京の応援バスツアーを開催いたしました。

報告は以上になります。

○貝ノ瀬教育長 以上で報告は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

須藤委員、お願いします。

○須藤委員 14ページの教育政策推進室のところの、9日のコミュニティ・スクールの委員会会長・副会長連絡会が開催されたということなんですけど、今、主にコミュニティ・スクール委員会で上がっている課題、主なものでいいんですけど、ぜひ教えていただきたいなと思います。

○貝ノ瀬教育長 越室長、お願いします。

○越教育政策推進室長 各学園によっても異なるところもございますけれども、ポイントとして上げるのであれば、やはり1つはコミュニティ・スクール委員会として協議を行ったり、あるいは様々な活動の部分もありますけれども、そうしたやるべきことが結構増えてきているという状況の中で、どういうふうな会議の運営をするか、あるいは、本来の役割である協議の部分の充実をどう図るかというところは一つ、最近の課題としてはあるところかなと思います。

一方で、教育委員会の施策として進めている地域学校協働活動を推進する団体をつくって、そこを中心に協議以外の活動等を行っていくということでも最近取組を進めていますけれども、そこが活発になると、どうしても本来の役割である協議以外の活動についての議論とかも伴って増えてきてしまう。そうすると、教育課程のところとかをじっくり議論するためにはどうしたらいいだろうかといった問題意識は、特に会長部会の辺りからは聞こえてきたかなと思っております。

この正副会長連絡会では、会長の部会と、評価と広報と支援に関する部会と、それぞれ4つに分かれて意見交換、情報交換を行っています。それぞれでまたちょっとずつ違う課題もありますけれども、そういったところがあるかなと思っております。

以上でございます。

○須藤委員 ありがとうございます。

○貝ノ瀬教育長 須藤委員、地元などから何かお聞きになっていることはありますか。

○須藤委員　今、やはりいろいろな活動面での負担が大きいという実際の委員の方の意見なんかも聞きますし、学園によって選考されている委員さんの立場って全然違うと思うので、学園によってその辺は違うと思うんですけど、私がいた東三鷹学園とかだと充て職で委員に就任されている方もいらっしゃるの、そういった方々が、短期間での活動の中で活動や役割についてよく理解できないまま参加しているとか、そういったところでなかなかモチベーションを見いだせなかったりといった意見はよく聞くので、ほかの学園とかの意見が聞ける場があるというのは、非常にいいのかなと思いました。

あと、いろいろ今、学園カレンダーとか、そういったのも各学園で作られて持っていると思うんですけど、印刷費とかもやっぱり高騰しているみたいで、今までと同じような予算だと同じ部数が作れないといったような声もあったので、その辺も課題なのかなと。

○貝ノ瀬教育長　越室長、どうですか。その辺の予算について。

○越教育政策推進室長　来年度のカレンダーの予算については、やはり高騰しているという状況もありますので、より広くお配りできるようにということで若干の増額をしておりますが、昨今、高騰状況が著しいこともありますので、追いつける部分とそうでない部分もあるかと思います。あとは、予算を柔軟に使えるような工夫等もしておりますので、また個別にご相談いただきながら対応していくということで考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○貝ノ瀬教育長　必要な予算については増額をお願いしていきますので、一挙には行きませんが、少しずつ増額は可能だと思いますので、それは検討させてください。

ほかの委員さん、いかがですか。よろしいですか。

○畑谷委員　すみません。学務課さんをお願いします。2月26日の給食のうずらの卵で児童が窒息死したことの関連で、栄養士会をはじめとして対応等を検討されたと思うのですが、三鷹市では今後どのような対策をとっていくのでしょうか。

○貝ノ瀬教育長　簡単に経緯も含めて説明をお願いします。久保田課長。

○久保田学務課長　先日、福岡で低学年のお子さんがうずらの卵を詰まらせて、先生方が救急処置を行いました。搬送先で亡くなられる事故がありました。

事故を受けまして国から通知が来ておりまして、喉に詰まらせやすいようなものについての食べるときの指導の在り方や、また、詰まらせてしまった場合の対応措置等、過去、国の通知が出ているものについて再度確認をした上で、お子さんにしっかりとかむ、また水分を取る、口に物を入れてふざけたり遊び食いをしないといった指導を再度行うようにという内容です。

昨日時点で既に全ての学校にその通知を行うとともに、三鷹市独自の取組といたしまして、給食で詰まらせやすいものが提供されるときには、お昼の放送や給食メモ等を活用してしっかりと、かんでくださいとか、水分を取りながら食べましょうということを周知するなど、しっかりと丁寧にさらなる指導を各学校に依頼をしているところでございます。

以上です。

○畑谷委員　ありがとうございます。本当に指導していくよりしようがないのかなと。子どもたち、うずらの卵は大好きですよね。あれを半分に切ったらどうなるのかなと思っ

たりもしてしまして、あれも駄目、これも駄目じゃ、本当に食べていくものがなくなりますし、いろいろなものを食べられなくちゃいけないので、そういう日々の指導しかないのかなと私も思いながらニュースを見ていましたけど、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

○貝ノ瀬教育長　うずらの卵とか白玉とかこんにゃく玉とか、丸くてつるつるして詰まりやすいようなものがメニューに出てきたときは、きめ細かくしっかりと指導してくださいという通知を出して注意喚起を図ったということですね。もちろん指導してくれているんでしょうけれども、この際だから、さらに徹底してやってくださるようお願いしたいですね。次回の校長会でも久保田課長からもまた再度指導をお願いします。

○久保田学務課長　今回は文書だけではなく、次回の校長会で、私から直接再度のお願いという形でご説明することを予定しております。

○畑谷委員　何もかもやめるというのはちょっと違うのかなと思うので、その辺、よろしくお願いします。

○貝ノ瀬教育長　ほかの委員さん、いかがでしょう。よろしゅうございますか。

それでは、日程第1、教育長報告を終わります。

この際、議事の都合により、しばらく休憩いたします。

午後　2時43分　休憩

午後　2時45分　再開

○貝ノ瀬教育長　それでは、休憩前に引き続きまして、会議を再開いたします。

委員の皆様にお諮りいたします。この際、議案第7号　職員の懲戒処分についてを日程第2に追加し、ご審議いただきたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長　ご異議なしと認めます。よってさよう決定いたしました。

委員の皆様にお諮りいたします。日程第2　議案第7号については、個人情報を含む案件のため、秘密会で審議したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長　ご異議なしと認めます。よって秘密会を開くことに決定いたしました。

午後　2時46分　秘密会開会

午後　2時59分　秘密会終了

○貝ノ瀬教育長　以上をもちまして、令和6年第3回教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後　2時59分　閉会